

対象年度		令和 6年度		総合計画実施計画策定及び行政評価シート											
事務事業名		保育士人材確保事業						予算事業名		保育士人材確保事業費					
予 算 科 目		会計	01	款	項	目	事業	要求区分	根拠法令						
				03	02	01	2501	経常経費							
総合計画体系		みんなで支えあい 安心して暮らせる地域福祉を目指す 未来を担う子どもを育む環境づくり 保育環境の充実						事業の区分		主要事業(6次総非掲載)					
								担当課係等		子ども福祉課 保育係					
事業期間		継続 (令和 4年度～ 年度)													
【めざす姿(意図・どのような状態になるのか)】								【事業開始のきっかけや他市の状況など】							
待機児童対策及び保育の担い手の確保のため、保育士資格の新規取得者の確保、保育士の継続就労支援、潜在保育士の再就職支援を行う。								年度途中の待機児童が発生しており、その原因の一つに保育士不足による受け皿の不足があり、他市においては同様の事業が既に開始されている。							
【手段(事業内容・どのようなことを行うのか)】								【対象(だれに対して・何に対して行うのか)】							
①新卒保育士確保のため、就労支援事業補助金(就職祝金)により、市内保育所等に就職した新卒保育士に祝金を支給 ②安定的な雇用確保のため、就労支援事業補助金(家賃補助)により、補助金を支給 ③新卒及び潜在保育士等の確保のため、就職合同フェア・保育施設見学ツアーを開催する								市内保育所等に就職する保育士、保育の担い手の確保を目指す幼児教育・保育施設							
								【事業をとりまく環境の変化】 全国的に保育士が売り手市場になっており、市内保育所等の保育士の確保が年々困難になってきている。							
【令和 6年度 事業内容】				【令和 7年度 事業内容】				【令和 8年度 事業内容】							
・補助金の交付(就職祝金・家賃補助) ・PR活動 (チラシ作成及び学校への送付等) ・就職合同フェアの開催				・補助金の交付(就職祝金・家賃補助) ・PR活動 (チラシ作成及び学校への送付等) ・就職合同フェアの開催				・補助金の交付(就職祝金・家賃補助) ・PR活動 (チラシ作成及び学校への送付等) ・就職合同フェアの開催							

■事業費

		R04年度	R05年度			
財 源 内 訳	国庫支出金	0	0			
	県支出金	0	0			
	地方債	0	0			
	その他	0	0			
	一般財源	551	1,390			
歳入計(千円)		551	1,390			
歳 出 内 訳	節(番号+名称)	金額(千円)	金額(千円)			
	08 旅費	0	7			
	10 需用費	46	97			
	11 役務費	1	2			
	13 使用料及び賃借料	4	4			
	18 負担金補助及び交付金	500	1,280			
歳出計(千円)(A)		551	1,390			
伸び率(%)			152.26			
備考	総合計画 ページ 予算書 98ページ					

令和 4年度行政評価シート

■指標

種類	指 標 名	単 位		R04年度	R05年度	R06年度
活動 指標	就労支援補助金の支給	人	目標	12.00	8.00	8.00
			実績	5.00	0.00	0.00
	就職フェアの開催	回	目標	1.00	2.00	2.00
			実績	1.00	0.00	0.00
成果 指標	支給者の継続就労者	人	目標	12.00	2.00	2.00
			実績	0.00	0.00	0.00
	フェア参加者からの市内保育施設就職者	人	目標	3.00	3.00	3.00
			実績	0.00	0.00	0.00

■事業評価

必要性	事業の必要性	A 必要性は高い	現状保育士が不足している以上、保育人材確保策は必要。
妥当性	実施主体の妥当性	A 妥当である	保育の実施主体が市である以上、行政が実施するもの。
	手段の妥当性	A 妥当である	妥当ではあるが、一部内容に事業委託の検討の余地あり。
効率性	コストの効率性・人員効率	A 改善の余地はない	準備等に人手と時間がかかる。
公平性	受益者の偏り	A 偏りは見られない	直接的な受益者は限られるが、継続就労すれば市に有益である。
有効性	成果向上の余地	B どちらも言えない	
進捗度	事業の進捗	A 順調である	
総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください			
対応策提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか			
事業を継続していくなかで、事業実績や参加者の意見を受け、改善・改革をしていく。			

■方向性

1 次評価（1 次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策））
☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充）☒ 改善改革しながら継続☐ 現状のまま継続（改善・改革なし）☐ 統合・新規事業への展開
☐ 縮小☐ 休止☐ 廃止・終了☐ 予定どおりの要求☐ 一部改善の上要求☐ 今回は見送り☐ その他の処置

方向性の具体的内容
保育士不足が懸念されており、それは年度途中の待機児童問題の原因の一つにもつながっている。令和4年度からの事業であるが、事業実績や参加者の意見を参考に、安定的な保育環境確保のために保育士確保に努めていく。

2 次評価（2 次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策））
☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充）☐ 改善改革しながら継続☐ 現状のまま継続（改善・改革なし）☐ 統合・新規事業への展開
☐ 縮小☐ 休止☐ 廃止・終了☐ 予定どおりの要求☐ 一部改善の上要求☐ 今回は見送り☐ その他の処置

企画調整会議の意見・考え方（1 次評価者と同じ場合も記入）
上記評価のとおり